

## 大学院 FD 活動報告

### 1. はじめに

大学院 FD 委員会では、教員の研究力および教育力の向上を目的とし、2022 年度では下記 3 点について取り組んだ。

- 1) 外部講師による講演会の開催
- 2) 大学院担当教員の研究紹介による研修会
- 3) 大学院生へのアンケート調査と情報交換会の実施

以下に、実施状況の概要を報告する。

### 2. 実施状況報告

#### 1) 外部講師による講演会の開催

科学研究における科学哲学とその重要性、科学哲学の歴史と最近の動向、さらに科学研究の目的や独創的な発見の要素などについて、外部講師による講演会を下記のとおり実施した。多くの質問があり、活発な討論が行われた。

日 時：2022 年 2 月 11 日（土）14：00～15：30

会 場：本学 4 号館 421、422 講義室

講 師：禹 濟泰 氏

中部大学・応用生物学部応用生物化学科 教授

合同会社天然資源研究開発センター共同代表

演 題：「科学哲学と研究活動」

参加者数：本学大学院担当教員、大学院生および本学教職員 28 名



#### 2) 大学院担当教員の研究紹介による研修会

大学院担当教員に今年度から加わった 3 名の研究紹介による研修会を下記の 2 回に分けて実施した。3 名の教員の専門がそれぞれ異なる分野であることから、自己紹介を兼ねた研究紹介を行うことで情報を共有し、今後の大学院の研究・教育活動に役立てることを目的に実施した。

・第1回大学院 FD 研修会 学内教員による研究紹介

日時：2022年12月3日（土） 12:00～13:00

会場：421、422 講義室（対面開催、在外国の大学院生に対して ZOOM 同時配信）

司会・進行：大学院 FD 委員 村田 浩子、中村 禎子

発表者と内容：

富井 友子 先生「高齢者の地域ケア」

村田 浩子 先生「日本人重量級競技者の心血管代謝リスクと栄養介入による身体機能  
の変化」

・第2回大学院 FD 研修会 学内教員による研究紹介

日時：2023年2月11日（土）15:30～16:00（質疑応答含む）

会場：421、422 講義室（対面開催、在外国の大学院生に対して ZOOM 同時配信）

司会・進行：大学院 FD 委員 村田 浩子

発表者と内容

渡辺 章夫 先生「植物由来ポリメトキシフラボノイドの成分分析と多様な機能性」

3)大学院生へのアンケート調査と情報交換会の実施

大学院生の声を聴くアンケート調査を下記のとおり実施した。尚、昨年度と同様、例年実施していた教員と大学院生との情報交換会は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、やむを得ず中止した。

○2022年度大学院生の声を聴くアンケート調査と結果の概要

<実施期間と実施方法>

2023年2月24日（金）～3月5日（日）

今年度はより匿名化を徹底するために、従来の通りのメールにアンケート用紙を添付して実施ではなく、Forms を利用した Web アンケートで実施した。

<設問と集計結果は下記の通り>

○回収率

12名中5名、41.7%

全学生に共通する質問

- 1 カリキュラムや研究指導で大学院生への配慮は十分ですか。  
要望はありますか。⇒「ない」4名、「ある」1名
- 2 1について要望があると回答した方はその内容をお書きください。⇒記述なし
- 3 研究指導体制について要望はありますか。⇒「ない」4名、「ある」1名
- 4 3について要望があると回答した方はその内容をお書きください。⇒記述なし
- 5 大学で利用可能な文献データベースや図書について、例として検索案内などの要望はありますか。⇒「ない」4名、「ある」1名
- 6 5について要望があると回答した方はその内容をお書きください。  
⇒利用できるデータベースが少ない
- 7 大学院講義室、院生室、その他大学院関連施設・研究設備についての要望はありますか。  
⇒「ない」5名
- 8 7について要望があると回答した方はその内容をお書きください。⇒該当なし
- 9 大学院生生活の経済的基盤について大学の配慮は十分ですか。⇒「十分である」5名
- 10 9について十分でないと回答した方はその内容をお書きください。⇒該当なし
- 11 学会等への出席に際し、大学からの経済的な支援は十分ですか。  
⇒「十分でない」1名、「十分である」4名
- 12 11について十分でないと回答した方はその内容をお書きください。⇒記述なし
- 13 その他、大学院生活を送る上での要望はありますか。⇒「ない」5名
- 14 13について要望があると回答した方は具体的な内容をお書きください。⇒該当なし
- 15 授業時間割や中間報告等の年間スケジュールについて、要望はありますか。  
⇒「ない」3名、「ある」2名
- 16 15について要望があると回答した方はその内容をお書きください。  
⇒年間スケジュールを早めに知りたい、  
年度当初に年間計画を周知してくれるが時間等の詳細を早めにしてほしい〈\*1〉

修士課程の学生に対する質問 該当者判別不可

- 17 本学の大学院博士後期課程に進学したいと思いますか。
- 18 授業時間割や中間報告等の年間スケジュールについて、要望はありますか。
- 19 18について要望があると回答した方はその内容をお書きください。

最終（修了予定）学年の学生に対する質問 該当者判別不可

20 大学院修了後の進路、就職について、大学のサポートは十分ですか。

21 20 について要望があると回答した方はその内容をお書きください。

22 その他、どんなことでも、自由に意見や要望を書いてください。

⇒ENDNOTE に使用が可能になったとのことで、説明会を開いてほしい〈\*2〉

<対応、ならびに今後に向けての課題>

アンケート終了後、大学院生全員にフィードバックをメールで一斉配信した。\*1 と \*2 については、2023 年度大学院オリエンテーションにおいて対応した。

実施方法を Forms に変更したが、回答率が低かった。大学院は留学生、および社会人が占める割合が高いため、今後、留学生には指導教員と協力して直接ヒアリング等の機会を設けることが必要である。

以上